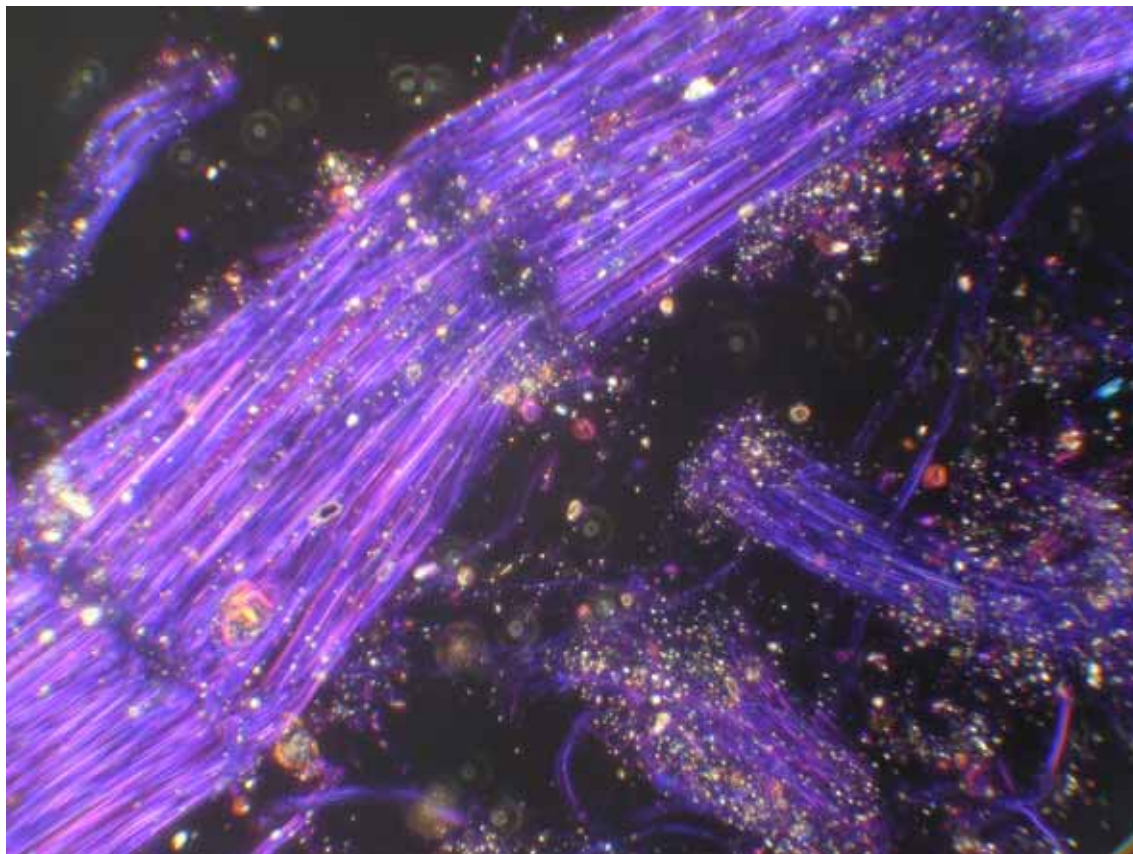


石綿(アスベスト)分析

日本環境は高度な技術とノウハウを駆使し、企業の環境パートナーを目指しています。

 日本環境株式会社



分散染色顕微鏡写真(クリソタイル繊維) n=1.550

石綿(アスベスト)とは、天然に産出する繊維状鉱物の総称です。一般的にはクリソタイル(白石綿)、アモサイト(茶石綿)、クロシドライト(青石綿)、アンソフィライト、トレモライト、アクチノライトの6種類としています。このうち、工業的に使われたものはクリソタイル、アモサイト、クロシドライトの3種類です。石綿(アスベスト)は1970年から1990年にかけて大量に輸入され、その大部分は建築材料として使用されました。

近年、石綿(アスベスト)の健康障害が社会問題になっておりますが、建材中にどれくらい含まれているか、空気中にどれだけ浮遊しているかという測定・分析の必要性が求められています。

日本環境では、建材や空気中等の石綿(アスベスト)分析サービスを提供しています。

石綿に対する法規

昭和 50 年の特定化学物質予防規則の改正により、石綿等の吹付け作業を原則禁止にしました。

平成 7 年には、アモサイト及びクロシドライトの製造等が禁止され、さらに平成 16 年 10 月にはクリソタイルの製造等が禁止され、国内の石綿使用量が大幅に減少しました。

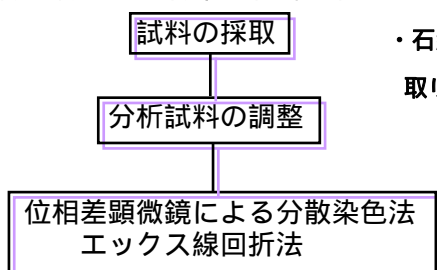
今後、石綿を使用した建築物の解体作業等の増加による石綿ばく露防止対策の徹底をはかるため、平成 17 年 7 月 1 日に特定化学物質予防規則より分離して、石綿障害予防規則が施行しました。

石綿調査の実施

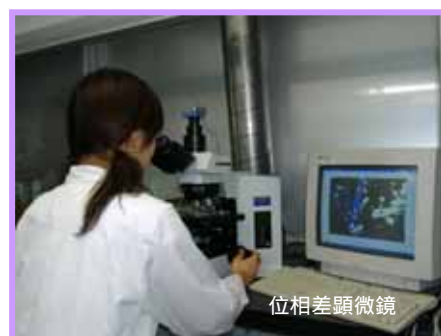
石綿障害予防規則の施行に伴い、建築物の解体等の作業を行うときは、あらかじめ、石綿の使用の有無を目視、設計図書等により調査し、その結果を記録しておかなければなりません。調査の結果、石綿の使用の有無が不明なときは**分析調査**を行う必要があります。

石綿(アスベスト)分析

吹付け材等の建材中の石綿分析



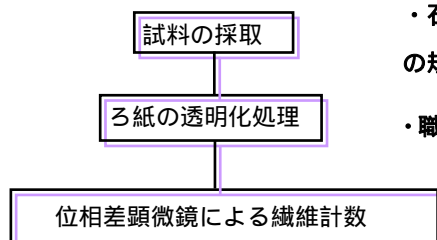
- ・石綿及び石綿含有製品の製造及び取り扱うときの管理基準：0.1%



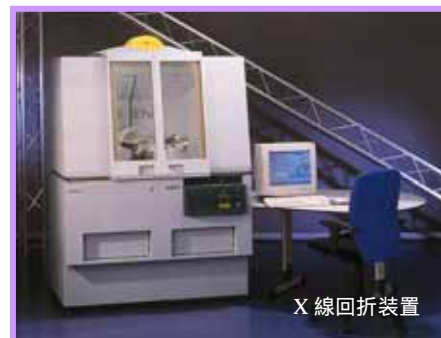
位相差顕微鏡

すべての建材：JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」

空気中の石綿粉じん測定



- ・石綿を取り扱う施設の敷地境界の規制基準：10 本/L
- ・職場環境の管理濃度：150 本/L



X線回折装置

現在、吹付け石綿を施工している室内の基準や大気中の基準等はありません。

大気測定：石綿粉じんに係る特定粉じん濃度の測定方法(平成元年環境庁告示第 93 号)

屋内測定：作業環境測定法、室内環境等における石綿粉じん濃度測定方法(日本石綿協会指定方法)



日本環境株式会社

環境計量証明事業所
www.n-kankyo.com

<環境計量カンパニー>

東京事業所	〒134-0091 東京都江戸川区船堀 5-11-19	TEL.03-5676-8711	FAX.03-5676-8710
横浜事業所	〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-1-13	TEL.045-780-3848	FAX.045-780-3859
千葉支店	〒272-0014 千葉県市川市田尻 3-4-1	TEL.047-370-2561	FAX.047-370-3050
埼玉支店	〒336-0964 埼玉県さいたま市緑区東大門 2-2-14	TEL.048-812-6222	FAX.048-878-7563
大阪支店	〒533-0013 大阪市東淀川区豊里 1-7-23	TEL.06-6990-7571	FAX.06-6990-7572

<環境調査カンパニー>

	〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-12-31	TEL.045-501-8929	FAX.045-504-2506
本社	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-3	TEL.03-5207-6701	FAX.03-5296-0075